

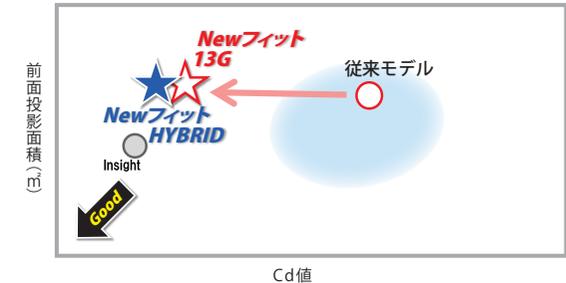
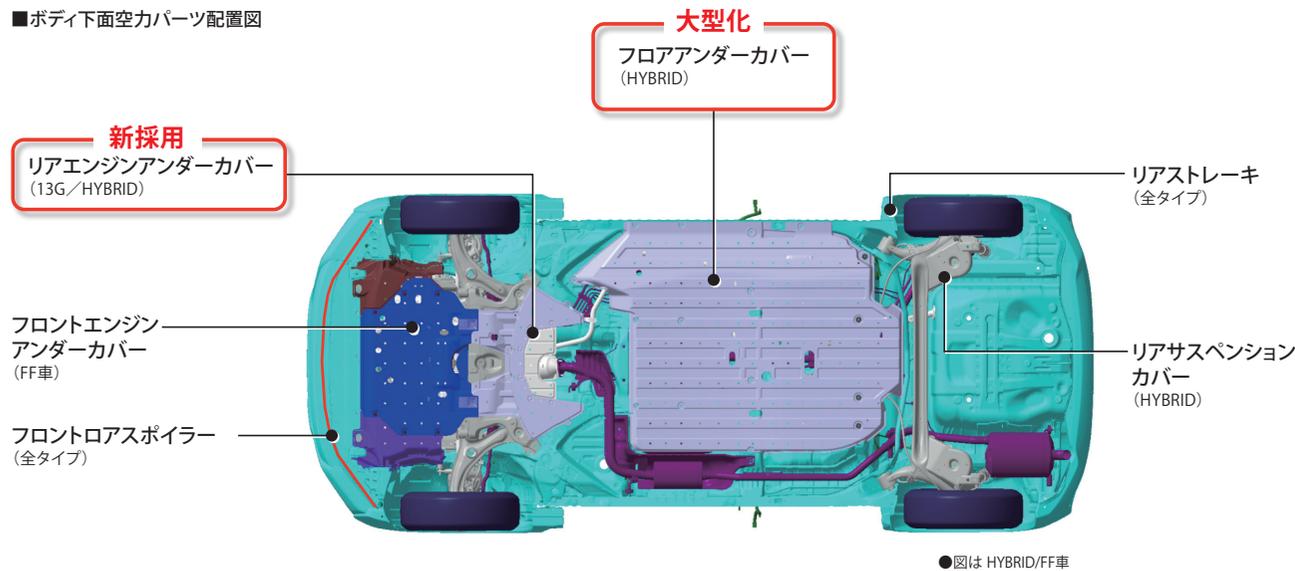
燃費に寄与する空力性能を大幅向上。 HYBRIDはインサイト並みのCd値を実現。

ルーフまわりの整流に加え、フロントピラーやリアコンビネーションランプなど、細部まで空気の流れに配慮した形状とすることで空気抵抗を低減。さらに、ボディ下面の整流にも積極的に取り組みました。中でもHYBRIDは、徹底的なフラット化によりインサイト並みの優れたCd値を実現しています。

ボディ下面の整流

フロントロアスポイラーとリアストレーキを全タイプに装備したうえ、FF車にはフロントエンジンアンダーカバーを装着。13GとHYBRIDにはリアエンジンアンダーカバーを新たに採用しました。さらに、HYBRIDはフロアアンダーカバーの大型化やリアサスペンションカバーの採用により整流効果を向上させています。

■ボディ下面空力パーツ配置図



フロントピラーガーニッシュ

構造を変更し、視界を悪化させることなく、前方からの風を受ける範囲を拡大。サイドへの風の流れをスムーズ化しCd値を低減しました。また、ワイパーブレード停止位置を風の流れよりも低く設定することで、空力性能の向上と風切り音の低減を実現しています。

■フロントピラー構造比較図

